

環境学習の拠点「津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ」



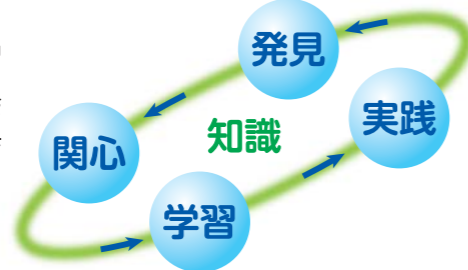
持続可能な社会の構築に向けた“人”の育成をめざして

廃棄物、地球温暖化をはじめ、地球環境問題は複雑かつ多様性を増しています。この問題解決のためには、私たち一人ひとりが、環境問題に対する知識・能力を習得し、問題解決に向け行動していくことが必要です。

また、環境問題は、これまでの公害への対処や自然保護に留まらず、衣、食、住、歴史、文化などにも関係していることから、広範な知識を習得することが不可欠です。

津山圏域クリーンセンターは、「緑に囲まれた、憩いと潤いの感じられる県北の地球環境保全の総合センター」を基本理念としています。

環境問題の解決に向け、体験を通じた知識の習得を支援し、世界的な要請である持続可能な社会の構築に貢献するために必要とされる“人”の育成をコンセプトにした環境学習を提供します。



環境学習の流れとねらい

下記は小学4年生用のプログラムです。

リサイクルプラザの環境学習は、ごみを入口に、地球のこと未来のことを「考え、そして行動」へと発展させています。実際のごみ処理の現場を見学していただき、その中でさまざまな環境問題に「気づき」、そして、その後のレクチャーの中で、自分自身ができることを「発見」し、学校や家庭での「行動」へとつなげることをねらいとしています。

津山圏域クリーンセンター 気づき・学び

関心

学校での事前学習

DVD鑑賞(15分)
リサイクルプラザからDVDをお貸しします。「ここはどうなっているのかな?」「こんな質問してみたいな」など、事前に学校で興味を持ったこと、質問などをまとめてください。



体験

クリーンセンター見学(45分)

熱回収施設とリサイクル施設をご案内します。
●自分たちが出したごみがどのように処理されていくのか実際に見学します。
●働く人たちに着目したり、リサイクルの仕組みに着目したり、ごみを有効に利用している様子などを通して、子どもたちのさまざまな気づきを促します。



質問タイム(15分)

学校での事前学習や、施設見学で感じた質問に答える時間です。ベテラン職員が丁寧にお答えします。

学び(30分)

わたしたちの生活が地球に負担をかけ、このままでは持続可能な社会になってしまうこととお話します。どうすれば解決できるのかを一緒に考えます。写真やクイズを使って分かりやすく進行します。

自分事に(15分)

地球のために、自分ができることを考えて葉っぱにメッセージを書きます。みんなに発表してもらい、地球にあたたかいメッセージを送ります。環境問題を解決できるのは自分の行動から始まることを感じていただきます。

決意を形に(15分)

書いたメッセージの葉っぱを、メッセージの木に貼り付け、決意を表明します。来場された他の方にも見えていただけるようにしています。

行動へ

事後学習

学んだことを行動に移すための学習をお願いします。行動することが一番大切です。
※必要があれば、事後学習の際に出前授業を行うこともできます。

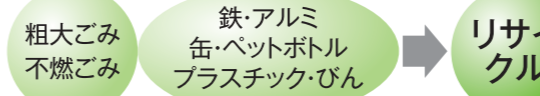
持続可能な社会をつかっていくのは、誰かがしてくれるのではなく、自分から行動する意識をもつことが必要であることを理解し、具体的な行動につなげていくことを学びます。

津山圏域クリーンセンター 見学の流れ(45分)

リサイクル施設と熱回収施設を見学し、可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみが安全に処理されている様子を知ることができます。また、資源循環学習ホールでは、ごみを通して環境問題を知り、持続可能な社会をつくるにはどうしたらいいか学習します。

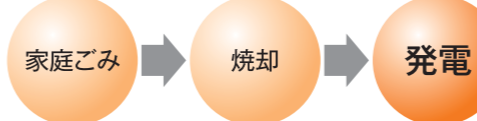
リサイクル施設(15分)

不燃ごみや粗大ごみを破碎して、資源を回収する施設や、缶類やペットボトル、ビン類、プラスチック容器包装などの資源ごみとして回収されたものを手選別したり、機械で選別する工程を見学できます。



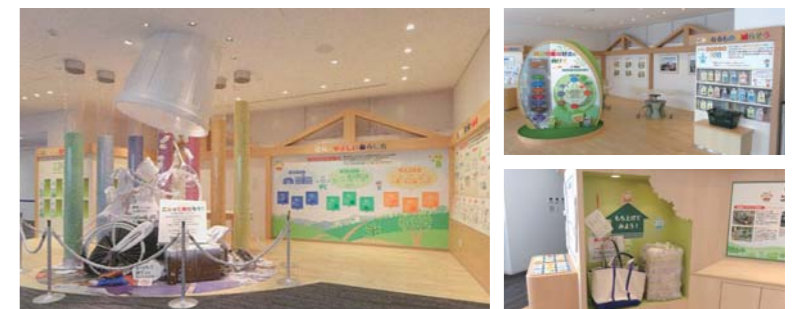
熱回収施設(15分)

わたしたちの生活から出る可燃ごみを焼却し、焼却時に出る熱を回収して電気をつくる施設です。ゴミの受入ピットやクレーンでゴミを投入するところが見学できます。



資源循環学習ホール(15分)

体験を通して学習ができるホールです。ごみ処理の歴史や環境にやさしく暮らしをクイズやレクチャーを通して学ぶことができ、また、持てるかなのコーナーでは、ペットボトルや缶をプレスしたものを持ちあげる体験ができます。



ごみの歴史を学ぶ

縄文時代から現代までの日本のごみ処理の移り変わりが学べます。

環境にやさしい暮らし

環境にやさしく暮らしはごみを少なくすることにつながります。ここではクイズ形式でゴミを減らす工夫を考えることができます。

環境のマークを学ぶ

私たちの周りには環境に関するマークがいっぱい。どのマークがどの製品に付けられているのかを学べます。

持てるかな?のコーナー

缶やペットボトルをプレスしたものを持ちあげる体験ができます。暮らしの中で多くの資源が使われていることを体感することができます。

持続可能な社会を学ぶ

地球にやさしく暮らしながら、持続可能な社会につなげることが学べます。